



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社 上場取引所 東
 コード番号 6061 URL
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安部 豪 (TEL) 072-649-2266
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績 (平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	1,324	45.0	173	12.4	184	9.6	118	11.6
27年6月期第1四半期	913	4.9	154	14.5	168	16.8	106	24.2

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 124百万円(16.3%) 27年6月期第1四半期 107百万円(25.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	49.30	—
27年6月期第1四半期	44.18	—

平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	6,163	5,316	86.2
27年6月期	6,166	5,263	85.4

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 5,316百万円 27年6月期 5,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	60.00	60.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年6月期の年間配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年6月期の連結業績予想 (平成27年7月1日～平成28年6月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,592	32.1	267	△16.7	281	△18.1	180	△17.5	75.00
通期	5,365	33.7	621	11.6	649	8.6	415	△8.0	173.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) ()、除外 一社(社名) ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期1Q	2,512,500株	27年6月期	2,512,500株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	110,096株	27年6月期	110,096株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期1Q	2,402,404株	27年6月期1Q	2,402,404株

平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して期末発行済株式数及び期末自己株式数、平成27年6月期の期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速の懸念はあるものの、先進国を中心とした緩やかな回復傾向は続いており、経済政策等の効果による雇用や所得環境の改善を背景に、消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルプランツのマーケティング活動に注力したほか、グリーン事業の更なる拡大を図るため、生花店及び園芸雑貨店の経営を中心とした小売事業の拡大に努めてまいりました。当社は小売事業を新たな戦略事業として位置付け、積極的に事業を展開するとともに、初期投資の回収に向け経費削減などの収益力強化に係る取組を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,324,958千円（前年同四半期比45.0%増）、営業利益は173,517千円（同12.4%増）、経常利益は184,318千円（同9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は118,445千円（同11.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・按分は、変更後の区分に基づいております。

各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

[グリーン事業]

グリーン事業につきましては、引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加等により増収となり、また経費削減に積極的に取り組んだ結果、増益となりました。海外エリアにつきましては、前連結会計年度に新たに連結子会社となったローリング・グリーンズ・インク社の影響等により増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は903,621千円（前年同四半期比32.7%増）、営業利益は184,909千円（同18.7%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは23.8%（前年同四半期22.9%）、関西エリアは24.9%（同23.8%）、海外エリアは3.9%（同3.2%）となりました。

[卸売事業]

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組んだことや、平成27年4月28日付で観葉植物等の卸売をしている株式会社高島屋植物園をM&Aによる企業結合をした結果、増収となりました。しかし、造花や石材の輸入においては仕入単価の上昇もあり、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は202,040千円（前年同四半期比109.0%増）、営業利益は4,914千円（同20.7%減）となりました。

[小売事業]

小売事業につきましては、大阪本社に隣接するガーデンセンターが前期においてリニューアルオープンしたこと等により増収となりましたが、カフェ新設の設備投資に係る費用や償却負担等の増加に伴い減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は239,886千円（前年同四半期比67.6%増）、営業損失は20,260千円（前年同四半期は11,654千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,163,998千円となり、前連結会計年度末に比べて2,060千円の減少(0.0%減)となりました。

このうち流動資産は2,486,471千円となり、前連結会計年度末に比べて188,151千円の増加(8.2%増)となりました。これは主に有価証券が200,000千円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,677,527千円となり、前連結会計年度末に比べて190,212千円の減少(4.9%減)となりました。これは有形固定資産が29,289千円増加した一方で、投資その他の資産が198,243千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は847,905千円となり、前連結会計年度末に比べて54,606千円の減少(6.1%減)となりました。これは主に未払法人税等が30,847千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,316,093千円となり、前連結会計年度末に比べて52,545千円の増加(1.0%増)となりました。これは主に、四半期純利益を118,445千円計上する一方で、配当金72,072千円の支払等により、利益剰余金が46,373千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、平成27年8月13日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,906	1,339,422
受取手形及び売掛金	563,709	535,859
有価証券	100,000	300,000
商品及び製品	203,763	233,177
原材料及び貯蔵品	1,015	560
その他	84,401	84,464
貸倒引当金	△6,476	△7,013
流動資産合計	2,298,319	2,486,471
固定資産		
有形固定資産		
土地	795,824	795,824
その他	1,357,434	1,411,404
減価償却累計額	△911,221	△935,901
その他(純額)	446,213	475,502
有形固定資産合計	1,242,037	1,271,326
無形固定資産		
のれん	396,898	378,697
その他	33,723	30,665
無形固定資産合計	430,621	409,363
投資その他の資産		
投資有価証券	921,296	720,560
繰延税金資産	380,987	390,503
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	△94,092	△95,997
投資不動産(純額)	412,642	410,737
その他	485,872	480,755
貸倒引当金	△5,718	△5,718
投資その他の資産合計	2,195,080	1,996,837
固定資産合計	3,867,739	3,677,527
資産合計	6,166,059	6,163,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,154	162,128
未払法人税等	96,808	65,960
賞与引当金	3,779	33,054
その他	201,082	174,775
流動負債合計	487,823	435,918
固定負債		
退職給付に係る負債	163,529	165,744
長期未払金	212,727	207,646
その他	38,431	38,595
固定負債合計	414,688	411,986
負債合計	902,512	847,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	5,118,735	5,165,109
自己株式	△153,585	△153,585
株主資本合計	5,260,409	5,306,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△411	△455
為替換算調整勘定	3,549	9,765
その他の包括利益累計額合計	3,137	9,309
純資産合計	5,263,547	5,316,093
負債純資産合計	6,166,059	6,163,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	913,989	1,324,958
売上原価	336,358	503,305
売上総利益	577,630	821,652
販売費及び一般管理費	423,286	648,135
営業利益	154,343	173,517
営業外収益		
受取利息	3,427	3,766
受取配当金	171	189
投資不動産賃貸料	9,957	6,988
その他	4,973	5,216
営業外収益合計	18,531	16,160
営業外費用		
不動産賃貸原価	4,260	4,210
為替差損	237	—
その他	276	1,149
営業外費用合計	4,775	5,360
経常利益	168,099	184,318
税金等調整前四半期純利益	168,099	184,318
法人税等	61,951	65,872
四半期純利益	106,148	118,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,148	118,445

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	106,148	118,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206	△44
為替換算調整勘定	1,171	6,216
その他の包括利益合計	964	6,171
四半期包括利益	107,113	124,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,113	124,617
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

平成27年4月30日に行われたローリング・グリーンズ・インクとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結累計期間に確定しております。

取得原価の配分額(価格調整)について、契約に基づく運転資本等の変動による調整等が確定し、買収価格等を修正しております。この結果、暫定的に算定されたのれんの金額395,444千円は、会計処理の確定より37,529千円減少し、357,915千円となっております。

また、この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前連結会計年度末は、その他(流動資産)が14,344千円、繰延税金資産(投資その他の資産)が23,184千円増加し、のれんの金額が37,529千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売 事業	小売 事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計					
売上高									
外部顧客への 売上高	338,850	323,903	16,683	679,437	91,712	142,839	913,989	—	913,989
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,413	—	1,413	4,939	281	6,634	△6,634	—
計	338,850	325,317	16,683	680,851	96,651	143,120	920,624	△6,634	913,989
セグメント利益 (△は損失)	77,694	77,534	532	155,761	6,194	△11,654	150,301	4,042	154,343

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額4,042千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売 事業	小売 事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計					
売上高									
外部顧客への 売上高	390,286	342,387	170,947	903,621	181,755	239,581	1,324,958	—	1,324,958
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	20,285	305	20,590	△20,590	—
計	390,286	342,387	170,947	903,621	202,040	239,886	1,345,549	△20,590	1,324,958
セグメント利益 (△は損失)	92,846	85,330	6,732	184,909	4,914	△20,260	169,562	3,954	173,517

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額3,954千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「グリーン事業」セグメントに含まれていた「小売事業」セグメントにつ
いて重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、従来区分掲記しておりました「ネット通販事業」セグメント及び「造園事業」セグメントは、重要性が乏
しくなったことに伴い、セグメントの区分方法を見直し、「グリーン事業」セグメントに含めて記載しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示
しております。